

SAMPLE



フェアな価格 確かな信頼

バンカーオイル

Bunker Oil

お申し込み >

試読 >

☆RIM BUNKER OIL INTELLIGENCE DAILY

★No. 8872 Mar 4 2021

Copyright(C) 2021 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 12:30 JST Mar 4 2021<Assessment Closing Time>

◎お知らせ

○「第3回立ち寄りセミナー ～早春編～」のお知らせ

2021年を迎え日本政府がカーボンニュートラルの実現を目指す2050年まであと30年を切り、脱炭素に向けた研究、技術開発が各分野で着々と進んでいます。リム情報開発は、脱炭素に向けたエネルギー産業の未来に関する考察を深めていただくための一助となるよう、以下の要項でオンラインセミナーを開催いたしますのでお気軽にお立ち寄りください。この立ち寄りセミナーは、エネルギーの動向をタイムリーに紐解く季刊誌「エネルギー通信」の発刊に合わせて開催しております。

◆テーマ : 脱炭素への舵取り 待ったなし ◆日時 : 3月11日(木) 14:00~15:30

◆形式 : Microsoft Teamsライブイベントを使用。事前にセミナーへアクセスできるURLをお送りします。3月10日(水)14:00~15:00の間に接続をお試しいただけます。

◆参加費 : 3,000円(税抜き) お申込みいただいた後、当方から請求書(PDF)をメールにてお送りいたします。所定の口座へ3月9日(火)までにお振込みください。ご参加いただいた方に「エネルギー通信」(定価5,000円)の2月20日号、「クリーンエネルギー」最新号(5,000円相当)を進呈いたします。

◆下記のリンクより3月8日(月)までにお申し込みください。

URL : <https://www.rim-intelligence.co.jp/info/cat01/2021/1667737.html>

不明点やご質問がありましたら、何なりとお問い合わせください。

リム情報開発(株) 研修・セミナー開発チーム

電話 03-3552-2411 E-Mail info@rim-intelligence.co.jp

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

4日のレックス22は、前日から0.19ポイント下落し102.37です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート

ローリーラック(国内陸上)

石油化学

バイオマス(週刊)

クリーンエネルギー(週刊)

アジア石油製品

ジャパン石油製品(国内海上)

ポリオレフィン

デリーデータ

CROSS VIEW軽油/重油

バンカーオイル

LPG LNG

電力

Rim Data File

エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp



◎North/South America

--- 3Mar21 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO #	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Vancouver BC*	427.00 - 430.00	+1.00	510.00 - 513.00	+2.00	600.00 - 610.00	-5.00
Seattle/Tacoma*	434.00 - 437.00	+3.00	515.00 - 518.00	0.00	610.00 - 620.00	+10.00
Los Angeles*	420.00 - 423.00	+1.00	500.00 - 503.00	+10.00	598.00 - 608.00	+1.00
San Francisco*	NA - NA	-	500.00 - 503.00	0.00	658.00 - 668.00	+3.00
New York*	394.00 - 397.00	+5.00	505.00 - 508.00	+5.00	550.00 - 560.00	0.00
Philadelphia*	403.00 - 406.00	+5.00	505.00 - 508.00	+5.00	550.00 - 560.00	0.00
Norfolk*	NA - NA	-	542.00 - 545.00	+5.00	570.00 - 580.00	+10.00
Houston*	360.00 - 363.00	+15.00	475.00 - 478.00	+15.00	555.00 - 565.00	+5.00
New Orleans*	371.00 - 374.00	+9.00	490.00 - 493.00	+10.00	565.00 - 575.00	+10.00
Panama*	390.00 - 393.00	+4.00	490.00 - 493.00	-5.00	565.00 - 575.00	-10.00
R. D. Janeiro***	NA - NA	-	509.00 - 510.00	+6.00	596.00 - 597.00	-11.00
Rio Grande***	NA - NA	-	524.00 - 525.00	+6.00	660.00 - 661.00	-11.00
Salvador***	NA - NA	-	532.00 - 533.00	+6.00	641.00 - 642.00	-11.00
Santos***	NA - NA	-	494.00 - 495.00	+6.00	626.00 - 627.00	-11.00

--Note: In US DLRS/MT, *Ex-wharf, ***Posted Prices, # R.D. Janeiro, Rio Grande, Salvador and Santos (MGO)

◎Europe

--- 3Mar21 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Rotterdam	367.00 - 370.00	-10.00	472.00 - 475.00	+2.00	500.00 - 510.00	0.00
Antwerp	NA - NA	-	472.00 - 475.00	+2.00	500.00 - 510.00	0.00
Hamburg	391.00 - 394.00	-2.00	472.00 - 475.00	+2.00	523.00 - 533.00	+8.00
Gibraltar	395.00 - 398.00	+1.00	486.00 - 489.00	+1.00	540.00 - 550.00	-5.00
Algeciras	395.00 - 398.00	+1.00	486.00 - 489.00	+1.00	540.00 - 550.00	-5.00

--Note: In US DLRS/MT

◎Middle East/Africa

--- 3Mar21 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO #	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Las Palmas	398.00 - 401.00	-1.00	486.00 - 489.00	+1.00	540.00 - 550.00	-5.00
Tenerife	398.00 - 401.00	-1.00	486.00 - 489.00	+1.00	540.00 - 550.00	-5.00
Dammam/R. Tanura***	379.00	0.00	505.00	+13.00	590.00	+15.00
Jeddah/Yanbu***	391.00	0.00	505.00	+13.00	590.00	+15.00
Kuwait	375.00 - 378.00	0.00	491.00 - 494.00	-2.00	585.00 - 595.00	0.00
Fujairah	375.00 - 378.00	0.00	491.00 - 494.00	-2.00	585.00 - 595.00	0.00

--Note: In US DLRS/MT, ***Posted Prices, # Dammam/R. Tanura, Jeddah/Yanbu (MGO)

◎Asia

--- 3Mar21 Closing Quotes ---

Port/Location	380CST		VLSFO		LSMGO (LSMD0:Japan) ##	
	Low - High	Change	Low - High	Change	Low - High	Change
Tokyo Bay	407.00 - 410.00	-10.00	512.00 - 515.00	+5.00	669.00 - 679.00	+18.00

West Japan	413.00 - 416.00	-10.00	518.00 - 521.00	+5.00	679.00 - 689.00	+18.00
Ise Bay	412.00 - 415.00	-10.00	517.00 - 520.00	+5.00	669.00 - 679.00	+18.00
#Rim Average-Mar	409.72	-9.13	514.07	+4.57	672.52	+16.43
S. Korea	395.00 - 398.00	+3.00	505.00 - 508.00	+8.00	530.00 - 540.00	+13.00
F. E. Russia*	357.00 - 360.00	0.00	522.00 - 525.00	-3.00	520.00 - 530.00	0.00
Taiwan Kaohsiung PP***	435.00 - 438.00	-5.00	519.00 - 522.00	-18.00	572.00 - 575.00	-15.00
Taiwan Keelung PP***	NA - NA	-	519.00 - 522.00	-18.00	572.00 - 575.00	-15.00
Taiwan Taichung PP***	NA - NA	-	519.00 - 522.00	-18.00	572.00 - 575.00	-15.00
Taiwan Others PP***	NA - NA	-	519.00 - 522.00	-18.00	572.00 - 575.00	-15.00
Shanghai	405.00 - 408.00	-2.00	511.00 - 514.00	+7.00	550.00 - 560.00	+17.00
Zhoushan	395.00 - 398.00	-2.00	496.00 - 499.00	+6.00	535.00 - 545.00	+12.00
Hong Kong	372.00 - 375.00	-2.00	493.00 - 496.00	+3.00	503.00 - 513.00	+2.00
Singapore	368.00 - 371.00	-1.00	495.00 - 498.00	+7.00	509.00 - 519.00	+2.00
Bangkok	417.00 - 420.00	0.00	527.00 - 530.00	0.00	555.00 - 565.00	0.00
Colombo	NA - NA	-	557.00 - 560.00	+5.00	560.00 - 570.00	+5.00

--Note: In US DLRS/MT, *Nakhodka, Vostochny, Vladivostok, ***Posted Prices
#Rim Tokyo Bay monthly average, ## F.E.Russia and Taiwan PP (MGO)

○概況

3日のバンカー相場は、原油高を受け、欧米を中心に上昇した。

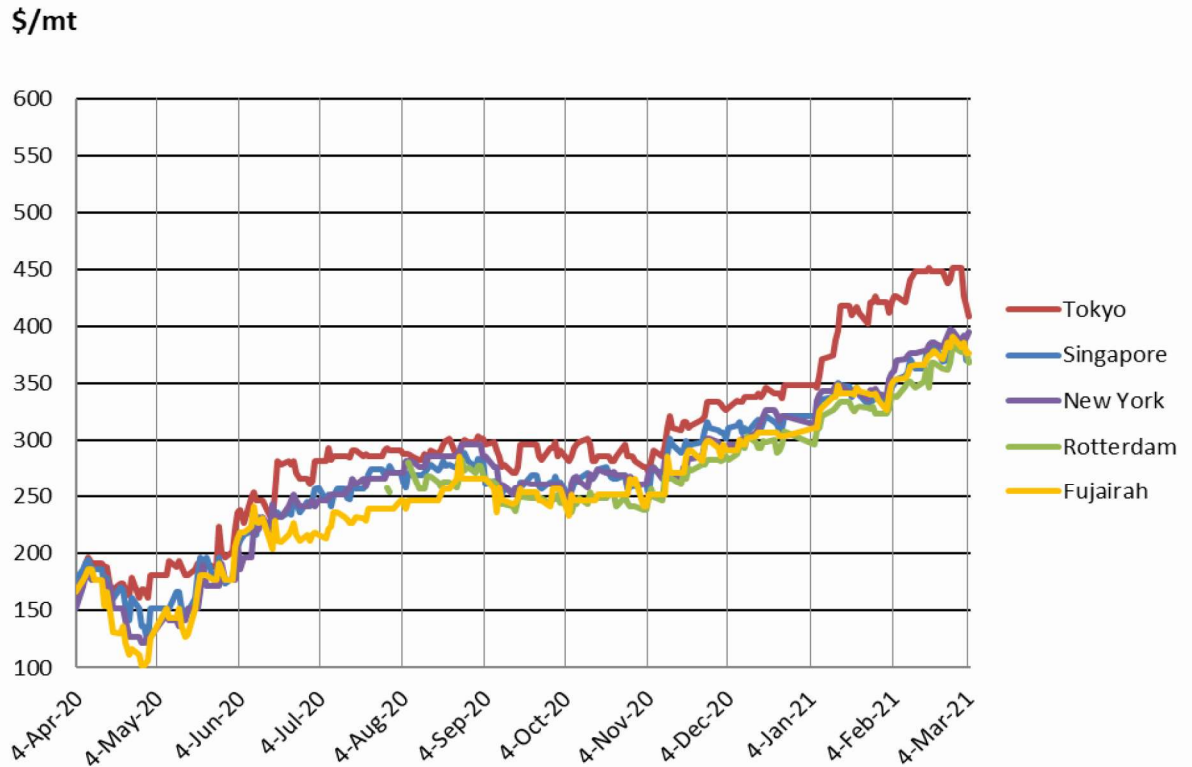
3日のニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX) の WTI 原油先物相場は 4 営業日ぶりに反発した。当限 4 月物の終値は 61.28 ドル/バレル。前日比 1.53 ドル高となった。一週間前に比べると 1.94 ドル安い。石油輸出国機構 (OPEC) が 3 日に行われた共同閣僚監視委員会 (JMMC) で、協調減産の 4 月以降の規模縮小に対する提言は行われなかった。OPEC と非 OPEC 主要産油国で構成する「OPEC プラス」が 4 日に実施する閣僚会合でも、4 月以降の減産幅の縮小が見送られるとの

見方が広まり、需給緩和観測が後退、買いが先行した。米エネルギー情報局 (EIA) がこの日発表した週間石油統計によると、米原油在庫が前週比 2156 万バレル増加した。市場の事前予想 90 万バレル減に反しての積み増しで、増加幅は過去最大となった。一方、ガソリン在庫が前週比 1360 万バレル減と、こちらも過去最大を記録。ただし、いずれも寒波の影響でテキサス州の製油所が稼働を停止したことによる一時的な状況で、市場の反応は限定的だった。インターコンチネンタル取引所 (ICE) の北海ブレント原油先物相場は反発した。当限 5 月物の終値は前日比 1.37 ドル高の 64.07 ドル/バレル。一週間前に比べると 2.11 ドル安い。

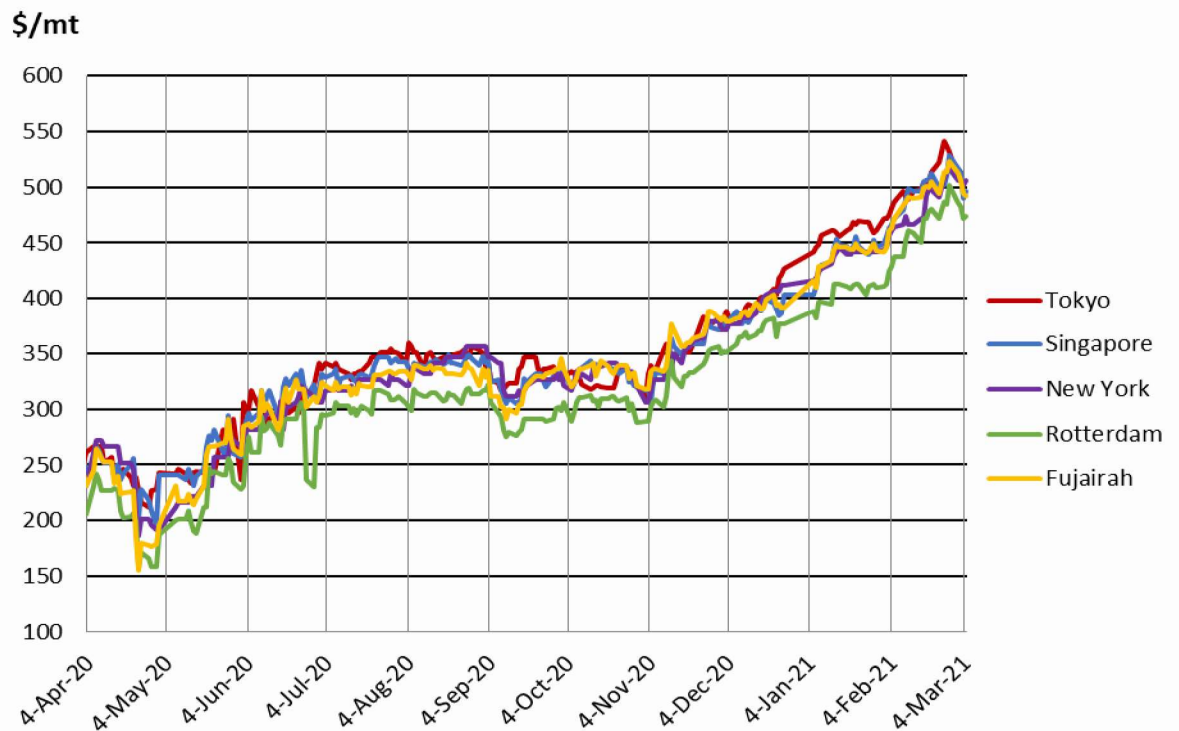
3 日主要原油の当限引け値は次のとおり。

- * NYMEX・WTI 4 月: 61.28 ドル (前日比 1.53 ドル高)
- * ICE・BRENT 5 月: 64.07 ドル (前日比 1.37 ドル高)

380cst Prices



VLSFO Prices



○バンクーバー

バンクーバーの380cst相場は、427.00～430.00ドルと前日から1.00ドル上昇した。原油高を受けた。売値は427.00～437.00ドルが聞かれた。硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、510.00～513.00ドルと同2.00ドル上昇した。原油高を受けた。マリ

ンペトロバルク (MPB) は510.00～532.00ドルで売り値えた。一方、LSMGO相場は、600.00～610.00ドルと同5.00ドル下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。MPBは610.00～621.00ドルで売り値えた。

○米西海岸

シアトルの380cst相場は、434.00～437.00ドルと前日から3.00ドル上昇した。原油高を受けた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、515.00～518.00ドルと前日からもち合った。また、LSMGO相場は、610.00～620.00ドルと同10.00ドル上昇した。原油高を受けた。ロサンゼルス380cst相場は、420.00～423.00ドルと前日から1.00ドル、

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、500.00～503.00ドルと同10.00ドル、LSMGO相場は、598.00～608.00ドルと同1.00ドルそれぞれ上昇した。原油高を受けた。サンフランシスコの硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、500.00～503.00ドルと前日から横ばい。一方、LSMGO相場は、658.00～668.00ドルと同3.00ドル上昇した。原油高を受けた。

○米東海岸

ニューヨークの380cst相場は、394.00～397.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、505.00～508.00ドルといずれも前日から5.00ドル上昇した。原油高を受けた。一方、LSMGO相場は、550.00～560.00ドルと前日から変わらず。フィラデルフィアの380cst相場は、403.00～406.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、

505.00～508.00ドルといずれも前日から5.00ドル上昇した。原油高を受けた。一方、LSMGO相場は、550.00～560.00ドルと前日からもち合った。ノーフォークの硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、542.00～545.00ドルと前日から5.00ドル、LSMGO相場は、570.00～580.00ドルと同10.00ドルそれぞれ上昇した。原油高を受けた。

○米ガルフ

ヒューストンの380cst相場は、360.00～363.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、475.00～478.00ドルといずれも前日から15.00ドル、LSMGO相場は、555.00～565.00ドルと同5.00ドルそれぞれ上昇した。原油高を受けた。

市場関係者によると解纜りが逼迫しているという。1日以降濃霧の影響で、ヒューストン・シップ・チャンネル (HSC) 内の一部水路が閉鎖された。現地時間4日には平常通りの荷役やバンカー油供給が行われる見通しだ。一方、5日は午前中にかけて再度天候が悪化する予報であり、解纜

りの遅れを懸念する声が聞かれた。既報のとおり、2月に襲った寒波を映し、同港での荷役や燃料油の受渡しに慢性的な遅れが発生している。最短の受渡しは8日以降という。

ニューオーリンズの380cst相場は、371.00～374.00ドルと前日から9.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、490.00～493.00ドル、LSMGO相場は、565.00～575.00ドルといずれも同10.00ドルそれぞれ上昇した。原油高を受けた。

○北西ヨーロッパ

バンカー市場ARA(アムステルダム、ロッテルダム、アントワープ)の380cst相場は、ロッテルダムで367.00～370.00ドルと前日から10.00ドル大幅に下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、ロッテルダム、アントワープともに472.00～475.00ドルと同2.00ドル上昇した。原油高を受けた。また、LSMGO相場は、ロッテルダム、アントワープともに500.00～510.00ドルと前日から

横ばい。

ドイツのハンブルグの380cst相場は、391.00～394.00ドルと前日から2.00ドル下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。一方、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、472.00～475.00ドルと同2.00ドル、LSMGO相場は、523.00～533.00ドルと同8.00ドルそれぞれ上昇した。原油高を受けた。

○ジブラルタル・アルヘiras

英領ジブラルタルの380cst相場は、395.00～398.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、486.00～489.00ドルといずれも前日から1.00ドル上昇した。原油高を受けた。一方、LSMGO相場は、540.00～550.00ドルと同5.00ドル下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。

スペインのアルヘirasの380cst相場は、395.00～398.00ドル、硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、486.00～489.00ドルといずれも前日から1.00ドル上昇した。原油高を受けた。一方、LSMGO相場は、540.00～550.00ドルと同5.00ドル下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。

○フジャイラ

アラブ首長国連邦(UAE)フジャイラの380cst相場は、375.00～378.00ドルと前日から変わらず。売唱えは375.00～390.00ドルが聞かれた。硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、491.00～494.00ドルと同2.00ドル下落した。需給の緩みを受け

た。売唱えは491.00～505.00ドルが聞かれた。一方、LSMGO相場は、585.00～595.00ドルと前日からもち合った。売唱えは595.00～605.00ドルが聞かれた。

◎アジア・バンカー・マーケットコメント

○日本

日本の380cst相場は、京浜で407.00～410.00ドルと前日から10.00ドル大幅に下落した。シンガポール重油先物安を受けた。売唱えは410.00～413.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は、512.00～515.00ドルと同5.00ドル上昇した。シンガポール0.5%S重油先物高を受けた。売唱えは515.00～522.00ドルが伝えられた。既報のとおり、ENEOSは千葉製油所で13～16日、根岸製油所で17～31日の間、出荷規制を予定している。出光興産

千葉製油所は8日以降の受渡しを条件に引き合いを受けていたが、オーダーが集中した結果、中旬ごろまでほぼ一杯だという。コスモ石油千葉製油所は、月内は出荷規制などが予定されていないが、出荷バースの容量が大きいことから対応できる数量は限られるという。このように、現時点で受渡し日を事前に確約することは難しく、唱えを控えるか、タイミングが一致した時点で唱えを上げるか、売り手は苦渋の選択を迫られている。

硫黄分0.5%以下のLSMD0相場は669.00～679.00ドルと同18.00ドル上昇した。ENEOS、出光昭和シェルがいずれも4日以降の仕切り価格を2,000円切り上げたことを受けた。売唱えは

679.00～689.00ドルが聞かれた。なお、リムバンカー重油VLSF0の3月の月間平均価格は514.07ドルと先月より16.57ドル高い

○韓国

韓国の380cst相場は、395.00～398.00ドルと前日から3.00ドル上昇した。売り圧力の後退が相場を押し上げた。GSカルテックスは395.00～398.00ドル、SKエナジーは400.00～405.00ドルでそれぞれ売り唱えた。

硫黄分0.5%以下のVLSF0相場は、505.00～508.00ドルと同8.00ドル上昇した。シンガポール軽油先物高を受けた。S-オイルは505.00～

508.00ドル、SKエナジーは512.00～515.00ドルでそれぞれ売り唱えた。なお、GSカルテックス、現代オイルバンクはいずれもスポット市場での唱えを控えている。

硫黄分0.1%以下のLSMG0相場は、530.00～540.00ドルと同13.00ドル上昇した。シンガポール軽油先物高を受けた。SKエナジーは540.00～550.00ドルで売り唱えた。

○極東ロシア

極東ロシアの380cst相場は、357.00～360.00ドルと前日からもち合った。売唱えは360.00～363.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSF0相場は、522.00～525.00ドルと同3.00ドル下落した。売り圧力の高まりが相場を押し下げた。売唱えは525.00～530.00ドルが聞かれた。ただ、3日は引き合いも、価格の問い合わせも聞かれず市場は閑散とした。在庫量は緩やかに回復しているが、依然として競合する日本、韓国と比較して割高なため、引き合い自体が限られている。

市場関係者によると、ロシア政府は2022年までに段階的に輸出税率を見直し、最終的にはゼロにする方針だという。元々、国内消費を優先するため、石油製品の輸出には高い税率が課せられてい

たが、2018年頃から毎年10%程度見直しており、バンカーから輸出にシフトする供給業者もみられる。ただし、輸出できるのは国営石油会社のロスネフチ、大手独立系供給業者のNNKなど大手に限られるようだ。特にロスネフチは以前のように、積極的にバンカーの販売に関わる姿勢が薄れており、採算の良い輸出を選択しているとみられている。最大手の供給業者が本格的に軸足を輸出に移すことで、バンカー供給港としての今後の存続を懸念する声が伝えられている。

MG0相場は、520.00～530.00ドルと前日から横ばい。売唱えは530.00～540.00ドルが聞かれた。なお、硫黄分0.1%以下のLSMG0は低在庫を理由に唱えが聞かれなかった。ただ、市場関係者によると、問い合わせの内容次第では、供給業者から価格が提示されることもあるようだ。

○中国

中国・舟山における380cst相場は、395.00～398.00ドルと前日から2.00ドル弱含んだ。シンガポール重油先物安を反映した。売唱えは

395.00～413.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSF0相場は496.00～

499.00ドルと同6.00ドル上昇した。シンガポール重油先物高を映した。売唱えは496.00～528.00ドルが聞かれた。市況連動相場の商いでは3日、6日以降渡し計1,300トン以上が、シンガポール軽油市況比16ドルのディスカウント～フラットで成約されたようだ。前日から横ばいで推移した。

市場関係者によると、工場などでの発電用の重油消費が減り、重油需要が低迷しているよう

だ。さらに、天然資源やコンテナを運ぶ船舶の遅れに伴い、バンカー油の売上げも落ち込んでいる。需要回復の見通しが立たず、多くの中国国営石油会社がシンガポールなどに重油を輸出する動きがあるようだ。なお、足元の販売価格は原油先物に連動している。

LSMGO相場は535.00～545.00ドルと同12.00ドル上昇した。シンガポール軽油先物高を映した。売唱えは535.00～565.00ドルが聞かれた。

○香港

香港の380cst相場は372.00～375.00ドルと前日から2.00ドル下落した。シンガポール重油先物安を映した。売唱えは372.00～393.00ドルが聞かれた。硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は493.00～496.00ドルと同3.00ドル上昇した。シンガポ

ール0.5%S重油先物高を反映した。売唱えは493.00～513.00ドルが聞かれた。LSMGO相場は503.00～513.00ドルと同2.00ドル強含んだ。シンガポール軽油先物高を受けた。売唱えは513.00～524.00ドルが聞かれた。

○シンガポール

シンガポールの380cst相場は、368.00～371.00ドルと前日から1.00ドル弱含んだ。シンガポール重油先物安を反映した。売唱えは371.00～378.00ドルが聞かれた。

硫黄分0.5%以下のVLSFO相場は495.00～498.00ドルと同7.00ドル上昇した。シンガポール0.5%S重油先物高が影響した。売唱えは495.00～512.00ドルが聞かれた。市況連動相場の商いでは3日、9日以降渡し計1,100トン以上がシンガポール軽油市況比9～19ドルのディスカウントで成約されたようだ。また、9日以降渡し計1,100トン以上がシンガポール0.5%S重油市況比13～19ドルのプレミアムで成約されたようだ。いずれも前日から横ばいで推移した。

欧米から到着したVLSFOとその基材が積み上がり、供給余剰感が強まっている。また、中国からVLSFOやその基材がシンガポールに流入する予定だという。一方、3月後半渡しにかけて需要が落ち込むとの見方から、販売価格は下落傾向だ。通常3月は長期契約分の履行のため、スポット市場での販売が伸び悩む傾向にある。引き続き、足元の販売価格は原油先物に連動するようだ。

LSMGO相場は509.00～519.00ドルと同2.00ドル強含んだ。シンガポール軽油先物高を受けた。売唱えは519.00～532.00ドルが聞かれた。

◎公示価格

○ブラジル・ペトロbrasの公示価格(3日07時25分)=VLSFO価格を切り上げ、MG0価格を切り下げ

ブラジルの国営石油会社ペトロbrasは、現地時間の3日07時25分、リオデジャネイロのVLSFO価格を6.00ドル切り上げた。一方、MG0価格を11.00ドル切り下げた。主要港の価格は以下のとおり。

	VLSFO 0.5%S	MGO
リオデジャネイロ	509.00-510.00	596.00-597.00
リオグランデ	524.00-525.00	660.00-661.00
サルバドール	532.00-533.00	641.00-642.00
サントス	494.00-495.00	626.00-627.00

○台湾中油の公示価格＝バンカー重油価格 (LS180cst) を切り上げ

台湾中油 (CPC) は4日、バンカー重油価格 (LS180cst) を3.00ドル切り上げた。一方、バンカー重油価格 (380cst) とMGO価格をそれぞれ据え置いた。主要港のスポット価格は以下のとおり。

	380cst	180cst (0.5%S)	MGO
高雄	438.00	525.00	575.00
基隆	n. a.	525.00	575.00
台中	n. a.	525.00	575.00
その他	n. a.	525.00	575.00

◎マーケットニュース
○中国＝石油4社製油所の平均稼働率は79.2%へ低下

リム調べによると、3日時点で中国石油化工 (シノペック)、中国海洋石油 (CN00C)、中化集団 (シノケム)、中国石油天然気 (ペトロチャイナ) が操業する主要35製油所の合計の原油処理量は、3月前半の平均で日量666万バレルと2月後半 (日量710万バレル) から6.2%減少する見通し。シノペックの長嶺石化 (日量22万バレル) と済南煉化 (日量16万バレル) が、定修のため稼働を全面停止した。また、シノペックの金陵石化 (日量36万バレル) とCN00Cの惠州煉化 (日量44万バレル) も、3月上旬から一部装置の定修を実施する。3月前半の平均稼働率は79.2%となる。石油4社の常圧蒸留装置の公称能力は日量840万バレル。

製油所名	所在地	能力 (b/d)	稼働率 (%)	
			3 月前半	2 月後半
SINOPEC				
鎮海石化	浙江省寧波	460,000	95.2	95.2
上海石化	上海	320,000	93.5	93.5
金陵石化	江蘇省南京	360,000	87.2	99.4
高橋石化	上海	250,000	84.7	87.6
揚子石化	江蘇省南京	250,000	81.8	81.8
福建煉化	福建省泉州	280,000	78.2	78.2
武漢石化	湖北省武漢	170,000	64.4	64.4
九江石化	江西省九江	200,000	76.7	76.7
長嶺石化	湖南省岳陽	220,000	0.0	69.7
燕山石化	北京	270,000	70.3	70.3
青島煉化	山東省青島	200,000	105.9	111.0
洛陽石化	河南省洛陽	200,000	73.0	73.0
天津石化	天津	310,000	78.2	79.1
済南煉化	山東省済南	160,000	0.0	91.3
石家荘煉化	河北省石家荘	160,000	91.3	91.3
齊魯石化	山東省シ博	280,000	87.9	87.9

青島石化	山東省青島	100,000	62.8	62.8
広州石化	広東省広州	270,000	91.9	91.9
茂名石化	広東省茂名	470,000	91.5	91.5
海南炼化	海南省	160,000	95.8	95.8
北海石化	広西北海	100,000	103.7	103.7
CNOOC				
惠州炼化	広東省惠州	440,000	66.0	90.9
SINOCHEM				
泉州炼化	福建省泉州	300,000	107.1	108.0
PETROCHINA				
大連石化	遼寧省大連	410,000	80.1	74.7
撫順石化	遼寧省撫順	230,000	76.2	76.2
大連西太石化	遼寧省大連	200,000	84.0	81.2
錦州石化	遼寧省錦州	150,000	69.6	69.6
錦西石化	遼寧省葫蘆島	140,000	75.6	75.6
吉林石化	吉林省吉林	200,000	88.3	88.3
大慶石化	黒龍江省大慶	200,000	84.0	84.0
大慶炼化	黒龍江省大慶	110,000	86.3	86.3
蘭州炼化	甘肅省蘭州	210,000	88.3	88.3
大港石化	天津	100,000	80.3	80.3
独山子石化	新疆	320,000	57.0	57.0
烏魯木齊石化	新疆	200,000	73.0	73.0
合計		8,400,000	79.2	84.6

○シンガポール＝トタルマリンフューエル、22年からLNGバンカリング供給へ

シンガポール港湾庁（MPA）は2月26日、2022年1月1日から5年間、トタルマリンフューエル社にLNGバンカーサプライヤーライセンスを与えると発表した。同港で3社目のLNG供給業者となる。

MPAはアジア最大の港であるシンガポールでのLNGバンカリングの安定供給を狙い、価格競争力のある市場を構築する予定。市場関係者によると、船舶用燃料としてのLNGの価格や数量は年単位の長期契約で決まっているため、少なくとも22年半ばまではスポット市場での取引は困難という。ただし、シンガポールでLNGバンカリング取引が活発になれば、アジア全域でスポット取引が広がるとの期待もある。

MPAはこれまでに、フューエルエヌジー（FuelLNG）社とパビリオンエナジー社にLNGバンカリングのライセンスを付与している。シンガポールの供給能力は、この2社で年間最大100万トンに達しているという。

◎お知らせ

○電力データCD・2019年度版の販売について

リム情報開発は、電力データCDの2019年度版の販売を7月15日から開始いたします。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております、電力データCDの最新版となります。最新版では、2019年4月から2020年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2019年度版は、収集件数4,740件（昨年度4,512件）で、うち比較可能なデータは3,379件（同3,282件）です。

関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1545787.html>

お申込みはこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/powerDataCd2019.pdf>

○『クリーンエネルギーレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は1月19日、週刊『クリーンエネルギーレポート』の創刊号を発刊しました。

週刊『クリーンエネルギーレポート』では、アンモニアの価格評価に加え、水素、エタノールなど炭素を含まないエネルギーや、排出権取引情報など幅広いトピックスを取り上げます。新型コロナの感染拡大が続く中、脱炭素エネルギーに対する関心が高まっています。『クリーンエネルギーレポート』では、国内外の最新情報を随時掲載していきます。

お申し込みは以下のURLからお願いいたします。下記のURLからは、12月に発刊しました「プレ創刊号」も試読頂けますので是非お目通しください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/ce1/>

ご購入につきましてご不明な点、ご質問がありましたらお気軽にお問い合わせください。

ご質問は クリーンエネルギーレポートチームまでお願いいたします。

電話：03-3552-2411 E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

○OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2020年12月24日、証券監督者国際機構 (IOSCO) により定められた石油価格報告機関 (PRA) に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品 (Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

【東京本社】

[Tel: 03-3552-2411](tel:03-3552-2411), Fax: 03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

【シンガポール支局】

[Tel: \(65\)-6345-9894](tel:65-6345-9894), Fax (65)-6345-9894,



e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

[Tel: \(86\) 10-6498-0455](tel:861064980455), Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: ma@rim-intelligence.co.jp huo@rim-intelligence.co.jp

[上海支社]

[Tel: \(86\)-21-5111-3575](tel:862151113575), e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2021 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >